

平成28年度 岡山県環境審議会政策部会 議事概要

(開催要領)

1 開催日時：平成29年1月30日(月) 10:00～11:00

2 場 所：岡山県庁分庁舎6階601会議室

3 出席者：

○委員(五十音順、敬称略)

岡本輝代志、沖陽子、勝山博信、河原長美、澁谷俊彦、高橋正徳、野上祐作、藤木茂彦、宮林英子/計9名(欠席1名)

○事務局(県)

環境文化部次長、環境企画課長、新エネルギー・温暖化対策室長、環境管理課長、循環型社会推進課長、自然保護班長、事務局職員

議 題	新岡山県環境基本計画(エコビジョン2020)の見直しについて
会議資料	別添資料のとおり
議事概要	<b>【議事】</b> 新岡山県環境基本計画の見直しについて
事務局説明	(環境企画課長が資料に基づき説明)
—委員意見— 意見1	・パブリックコメントの応募数は3件、市町村からの意見も1件のみとは少ないのではないかと。
環境企画課長	前回改訂時は12件であったが、当時は東日本大震災や原発事故の影響で県民の意識が高かったと考えている。この度の改訂では、県民の意見を聴く会や市町村、企業との意見交換会を実施し、そこでの意見も踏まえたものとなっている。また、県民意識のアンケートも行い、県民意見を可能な限り反映させている。
意見2	・自然環境学習の推進について、以前は学校の先生の初任者研修で自然環境学習を行っていた。虫が嫌いな先生もおり、自然の仕組みを知るために、必ず一度は受講していただきたい。
意見3	・用語集について、もう一度、主体がどこなのか検討していただきたい。スーパーエンバイロメントハイスクールは文科省なのか県教委なのか。

環境企画課長	単に用語の解説であり、主体を書いていない項目もあるが、もう一度確認し、必要に応じて対応していきたい。
意見 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画策定の背景の項目に合わせ、基本目標名も「安全・安心な生活環境の確保」に統一してはどうか。</li> </ul>
環境企画課長	今回の改訂の見直し方針では、重点プログラムを中心とした見直しなので、基本目標名についてはこのまま記載させていただく。
意見 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境学習等の推進に対する意見は、裏返せば小中学校において自然環境学習に取り組む先生がまだ育っていないことの懸念の表れではないのか。インストラクター的な人の育成が弱いのではないか。</li> </ul>
新エネルギー・ 温暖化対策室長	環境学習全般に、指導者の育成が課題になっていることは認識している。先生だけでは対応できない面もあるため、出前講座を活用していただきたい。
環境企画課長	計画の中には、「環境学習指導者の育成・活用」や「教職員に対する環境研修の実施」を盛り込んでいる。
意見 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画に記載していれば、教職員に対する強制力はあるのか。</li> </ul>
環境企画課長	強制はできないが、県庁の中では部局を跨いだ連絡会議も行っており、オール県庁で取り組んでいく。
意見 7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃止指標のうち、「おかやまアダプト参加人数」の達成予定とはどういうことか。また、「落書き防止重点取組地区指定地区数」は達成率が30%であるが、項目をなくすと取組自体なくなるのではないか。</li> </ul>
環境企画課長	おかやまアダプトについては、順調に推移しており、今年度中に目標を達成する見込みだ。落書きについては、昔に比べ、地区を指定して取り組むほどの規模ではなくなっているため、指標としては落としているが、「快適な生活環境の保全」のなかで引き続き、取り組むこととしている。
意見 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パリ協定の記述について、「努力する」に係る部分がわかりづらい。</li> </ul>
新エネルギー・ 温暖化対策室長	国の資料からそのまま引いているところもあるが、今回はご指摘の通り表現を修正する。
意見 9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修正案の中で、「強力に」とあるが、他にも使っているのか。</li> </ul>

環境企画課長	おそらくこの部分のみであるが、鳥獣害については、被害が多く出ているため、わかりやすくするため「強力的に」としている。
谷口班長	ご意見を頂いた中で、必ずしも反映できるわけではないが、取組の意思を示すためにこういった記述にさせていただいている。  以上